

いろんな高校改革に取り組んできたって いうことだけど、いま、滋賀県の県立高 **等学校はどんな課題に直面しているの?**



●生徒数の減少 (小さな規模の学校増)

- 多様で個性的な生徒との出会いが少なく、 切磋琢磨する機会が減っている
- 選択できる科目数 が限られ、生徒の 興味・関心にあっ た学習ができない
- ●部活動のメニュー
- が少ない ● 部員集めに苦労し 公式試合の出場に 支障を来している
- ●多様な教師との出 会いが少ない ●教科指導や校務が 多岐にわたり、 徒との関わりが希
- 文化祭や体育祭な どの学校行事や学 校活動で活気が見 られない

薄になる

大きな規模の学校

● 施設・設備等の使用において制約が生じ

②社会の急激な変化 ❸生徒のニーズの多様化

- 生徒の学習したい内容や希 望する進路と教育内容との 間に差がある
- ●生徒の目的意識や抱える課 題が多様化し、それらに対 する幅広い対応が必要とな っている

₫厳しい財政状況

- ●老朽化する学校施設や 設備
- 図書や教材、機器、備 品などの更新・修繕に 十分対応できていない

様々な高校改革に取り組んできましたが、 「❶生徒数の減少」や「❷社会の急激な変化」、 「❸生徒のニーズの多様化」、「❹厳しい財政 状況」等により、現在、県立高等学校はこの ような課題に直面しています。



❶生徒数が減少して、小さな規模の学校 が増えてきたっていうことだけど、どれ くらい生徒数が減って、学校の規模はど のように変わってきたの?



①生徒数の減少 中学校卒業(予定)者数の推移(地域版)

平成	2年	7年	12年	17年	22年	27年	32年	37年
全県の人数	20,747	17,859	17,068	14,515	14,439	14,592	13,880	13,308
6,500 6,000 5,500 5,000 4,500 4,000 4,30 3,500	6,031 6666 71 3,584 714 湖南	5,239 湖1,035 3	東地域 4,999 8,935 235	4,186 大津	建地域 3,960 3,243 3,40	3,963	3,746 3,584 79	3,672 3,610 2,967
2,000 1,500 1,000	湖西地域	1,980 1,99	買地域 •●		1,786 1, 1,673	707	1,558	1,398 1,247
0	1		765 2年	640 17年	557 22年	498 27年	429 32年	37年

※平成23年~平成31年は、平成22年5月1日の学校基本調査による現員 ※平成32年以降は、平成22年4月1日付けの県人口推計(統計課)による現員 ※旧志賀町は比較のため、大津地域に参入してある

平成2年度に県全体で20,747人だった中学校卒業者数は、平成22年度には14,439 人と約6,300人ほど減少しています。

学級数の変化

県立高等学校(全日制)の第1学年募集定員による学校規模(地域別)

	平成2年度】																		
瓫	学級 大津地域 数 校数 校数 校数 校 名		湖南地域		甲賀地域		湖東地域			湖北地域			湖西地域						
数数	校数	校数	校	名	校数	校	名	校数	校	名	校数	校	名	校数	校	名	校数	校	名
11	4	2	東大津 膳所								1	八幡(普)10	0(看)1				1	高島	
10	7	2	北大津 大津商業(商)	10	1	守山		2	甲西 水口東		2	彦根東 八日市							
9	8	3	堅田 大津(普)7(家): 石山(普)8(音)	2	3	草津東 玉川 野洲					1	河瀬		1	伊香(普)7	(農)2			
8	9	1	瀬田工業(エ)	8	3	守山北 栗東 国際情報(商)4(工)4	1	水口		2	彦根工業 八幡工業		2	長浜北(普 長浜商工)7(家)1 (工)5(商)3			
7	7				1	草津					4	能登川、 日野(普)5 彦根西(普	(商)2	1	虎姫		1	安曇川(背)2(商)5
6	6							1	甲南 (普)3(農)1(工)1(家)1	2	彦根商業 八幡商業	(商)6 (商)6	3	伊吹 長浜 米原(普)4	(理)2			
5	2				1	湖南農業(麎)5							1	長浜農業	(農)5			
4	1										1	八日市南	(農)4						
3	1							1	信楽(普)1(I)2									
合計	45	8 9		5				13			8			2					

合計	45		8	9		5		13			8	2		
<u></u>	【平成22年度】													
学	大津地域		湖南地域		甲賀地域			湖東地域		湖北地域	湖西地域			
学級数	校数	校数	校 名	校数	校 名	校数	校 名	校数	校 名	校数	校 名	校数	校 名	
11	1	1	膳所(普)10(理)1											
10	1	1	東大津											
9	2	1	石山(普)8(音)1	1	草津東(普)8(体)1									
8	4	1	大津(普)6(家)2	1	玉川	1	甲西	1	彦根東					
7	6	2	瀬田工業(エ)7 大津商業(商)7			1	水口(普)6(国)1	2	八日市 彦根工業(エ)7			1	高島	
6	12	1	堅田	4	守山 国際情報(総)6 草津 栗東(普)5(美)1	1	水口東	3	河瀬 八幡 八幡工業(エ)6	2	長浜北 米原(普)5(理)1	1	安曇川(普)2(総)4	
5	7	1	北大津(普)4(国)1	1	守山北			2	彦根翔陽(総)5 八幡商業(商)5	3	長浜(着)4(福)1 長浜北星(総)5 虎姫			
4	9			2	野洲 湖南農業(農)4	1	石部	3	彦根西(普)2(家)2 能登川 日野(総)4	3	伊吹 伊香 長浜農業(農)4			
3	4					2	甲南(総)3 信楽(普)1(エ)2	2	愛知 八日市南(農)3					
소타	46			0					10		_			

生徒数の減少に伴い、平成2年度に比べ、小さな規模の学校が増えています。



生徒数の減少により、小さな規模の学校が 増えているけど、学校の規模によってどの ようなメリット・デメリットがあるの?



小規模校

●友だちや教師全員の顔を

●施設・設備等に余裕があ

るため、制約が少なく利

りやすい。

用できる。

覚えられ、人間関係を作

〈例示〉

大規模校

- ●多様な科目や部活動のメ ニューがあり、選択肢が
- 豊富である。 ● 人間関係の組合せが多く、 切磋琢磨の機会に恵まれ ている。



【学習活動】 [必履修科目等の選択]

世界史A or B 日本史A or B (地理A or B)

現代社会

●〔政治経済〕 [多様な科目の選択]

- ●(国語表現Ⅱ) 古典講読
- 地学 I

● (芸術(音・美・書) [授業・補習等]

40人授業 分割授業 ● 分割授業

補習等 ●〔補 習 等〕

【部活動】 ● 水 泳 部 ● 〔 バスケットボール部 〕 ●

(バレーボール部) 文芸部

【学校行事等】

●規模が大きすぎると3年 間で交流のない生徒や教 師がおり、学校としての -体感を感じにくい。

デメリット

●施設・設備等の使用にお いて制約が生じることが ある。

吹奏楽部 多い(◆

体育大会・学園祭の参加人数、 係人数、プログラム数等

ノティア活動、インターンシップの 生徒会活動の委員会数等

デメリット

- 人間関係の組合せが少な く、固定化された人間関 係に陥りやすい。
- 科目や部活動のメニュ-が少なく、学校行事も小 規模となり、多様な学び において制約がある。

【県立高等学校における学級数別の部活動数、学校図書蔵書数の平均値】

1学年	部活	学校図書					
あたり 学級数	運動部	文化部	蔵書数				
11学級	35.0部	18.0部	29,203∰				
10学級	28.0部	11.0部	_				
9 学級	26.0部	12.7部	33,158∰				
8 学級	28.5部	13.0部	27,796∰				
7学級	24.0部	10.6部	22,728∰				
6 学級	19.9部	10.2部	23,906∰				
5 学級	18.9部	9.8部	22,575∰				
4 学級	17.7部	6.0部	19,415∰				
3 学級	13.3部	5.8部	12,997∰				

※図書蔵書数は平成18年度末 部活動数については平成20年度



大きな規模の学校、小さな規模の学校そ れぞれに様々なメリット・デメリットがあ ります。



❷社会の急激な変化や、❷生徒の二-の多様化ってどういうこと?







グローバル化の 進展



科学技術の 高度化

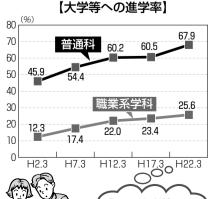
産業・経済の 急激な変化

近年の少子高齢化や情報化、グローバル化の進展、また、科学技術の高度化や 産業・経済の急激な変化等に適応した教育が求められています。

3生徒のニーズの多様化

【滋賀県における高等学校進学率】 H7.3 H12.3 H17.3 H22.3

100%に近づく 高等学校への進学率



高まる大学等への 進学率

高等学校ならびに大学等への進学率が高まる中、生徒一人ひとりの考え方や生 き方、目指す進路が多様化している状況に対応していく必要があります。